



サフラン便り

第45号 22年6月15日発行

発行：佐賀県薬剤師会女性薬部会

佐賀市本庄町大字本庄 1269-1

TEL:0952-23-8931 FAX:0952-23-8941

<http://www.sagayaku.or.jp/josei/index.html>

話そう、働こう、育てよう、いっしょに (2010年度 標語)

「男女共同参画週間」について

1999年6月、性別に関わりなく誰もが個性と能力を發揮できる社会をめざし、「男女共同参画社会基本法」が制定されました。それを踏まえ、内閣府では毎年6月23日から29日を「男女共同参画週間」とし、法の目的や基本理念について理解を深めるための様々な取り組みがされています。佐賀県内でもいろんなイベントが開催されます。そのひとつを紹介します。詳しくは「アバンセ」のHPをごらんください。

<男女共同参画週間記念フォーラム>

【日時】6月26日(土) 13:30~15:30

【開催場所】唐津市文化体育館 文化ホール

【参加費】無料

【対象】どなたでも

【申し込み】不要

【一時保育】無料(要申込)

講師：田部井淳子さん(登山家)

演題：世界の山々をめざして~支えあい、ともに登ろう~



在宅医療に特化した初の通信教育講座のお知らせ

<在宅専門薬剤師への道>

「地域医療連携」のスタッフとして、薬剤師への期待が高まっています!

「地域医療連携」への参画において、在宅医療に対応できる薬剤師の育成は、ますます重要性を増しています。本講座では、「地域医療連携」の中で薬剤師が対応すべき内容を網羅的に学ぶことができます。実習の症例をもとに、在宅医療で想定しうる疾患を専門的に学習、医師や看護師ら他職種スタッフとのスムーズな連携、情報共有のあり方を、実務に即し実践的に学べる教育ツールです。受講は、半年を1クールとし、計3期。半年後に第1期からの受講も可能です。また、テキストと連動したテスト問題及び回答。解説のメール配信を実施。受講者の皆さまのご都合に合わせた効率的な学習が可能なカリキュラム構成です。

(募集要項) 日本女性薬剤師会HP: <http://www.jyoyaku.net/zaitaku/index.html>

- ・募集対象：全国の薬剤師(男女)
- ・受講料：10000円/1期分(テキスト5回分・送料込)
- ・申込締切：7月10日(土)まで 延長されました

(講座のシステム)

- ・受講期間：2010年7月~12月(半年間で1期とする)
2011年1月に1期からの受講も可能
各期の最終月は自己研修にあてる。
- ・学習形態：テキスト学習(毎月1回、計5回発送)
各期末(最終月)に動画配信または勉強会実施(予定)
問題メール配信による「繰り返し学習」

第1期 学習スケジュール

- 7月：在宅療養と薬剤師
- 8月：在宅での薬の服用・管理
- 9月：認知症
- 10月：神経難病
- 11月：老人性運動器疾患

<ちょっと一言>

今日はお隣の歯科で定期検診を受けました。いつもながら、あの金属音には緊張します。ベッドを起こしてもらおうと前庭に咲き誇る紫陽花など季節の花々が私の緊張感をほぐしてくれます。カラスの鳴き声に耳を澄ましていると、嫌なキーンの音も気にならなくなります。優しい自然はいいですね。更地だった薬局の駐車場を舗装したので、彼岸花やヒナゲシを楽しめなくなりました。最近知りました、規制されるケシの茎は無毛って。(島田)

故慶松日薬会長は薬業界に最も欠如している政治意識と活動に薬剤師自身の議席確保による国政参加が不可欠であると危惧され、女性薬の協力も是非必要と指摘されました。このことは故秋島ミヨ日女薬会長も全く同じ思いで、昭和58年6月に行われた日薬代表参議院議員(石井道子氏候補)選挙には強い熱意を持って臨みました。この秋島会長の思いに引かれて日女薬会員は懸命に戦いました。その結果、初回は惜しくも次点で落選でしたが、1年後繰り上げ当選となり、以後日薬全会員の力強い後押しにより3期17年間国会議員として薬業界の為に八面六臂の活躍をされ、その功績は大きいです。その後優秀な人材である藤井基之氏に受け継がれましたが、2回目の選挙では不本意な結果となり折角汗と涙で勝ち得た議席を落として本当に残念です。大きな損失です。日薬代表の国政参加がなければ、日薬の前途は厳しいと全会員が自覚して一致団結して、必死で頑張りたいと切望いたします。薬剤師の皆さま方に輝かしい未来がありますように祈念いたしております。

今年3月、「会史プロジェクト」で佐賀市の「野中ウサイエン」のお蔵開きの見学に行ってきました。400年もの歴史の中で「解体新書」の原本を始め貴重な薬に関するお宝を見せていただきました。緊張しながらの見学撮影会でした。そんな中、無造作に床においてあった段ボール箱の中を探ってみると小さな冊子が目につきました。「育児の糧」と旧文語体の文字で書いてあり、現代に通じる文言がありました。しかし、読み続けていくと、大正年間に書かれたもので、ボーデン社による人工乳の開発研究の過程が書いてありました。その当時、乳児の死亡率の高さという不幸な現状を救済したいという思いがありました。今回、少しさわりの部分を紹介し次回からシリーズでこの冊子の内容を掲載予定にしています。(宮地)

<育児の原義> 現代仮名使いに変えています。

凡そ育児の注意は胎教より出発せねばなりません。殊に妊婦は生理的に神経過敏になるのが普通であります。故に妊婦の心が常に平和である事が最も肝要であります。且つ諸々の苦難を甘んじて堪え忍ぶ力の精神修養が必要であります。従って父親初め近親者は母親の心を楽しましむる可く務めるは勿論、妊婦自身の精神修養が最も大切であります。何となれば妊婦と胎児は密接の關係に有るからであります。即ち妊婦の心が常に平和なれば体健康であり胎児の発育も盛んであります。故に之を以って育児の第一義となさねばならぬと信ずるのであります。(「育児の糧」より)

(米國ボーデンス・ミルク會社 ボーデンス・モルテツド・ミルク日本部 總代理店 岡本 商會 版)

FAPA in 台湾参加のお誘い

11月5日~8日 台湾国際会議場 Taipei
International Convention Center
(1 Hsin-Yi Rd., Sec.5, Taipei 11049, Taiwan)



参加費 約30000円、航空運賃50000円、ホテル代金、1泊につき約10000円

歓迎レセプション、ガラーヤパーティ、フィールドトリップ含む

URL: <http://www.fapa2010-taiwan.com/>

今回の特徴

- 1 台湾 FAPA 副会長 Won 氏、女性薬剤師の観光ツアーを企画
- 2 今年はじめて台湾 Lyn 女史が女性セクションを設立。公式にアジアの女性薬剤師と国際交流ができるチャンス
- 3 学生実務実習プロモーター入江教授が教育部門議長

参加ご希望の方はご連絡ください。

徳洲 0942-85-3939